

寿楽院寺報

〒369-1245 深谷市荒川 9 8 3

高野山真言宗 荒瀬山 寿楽院

住職 高橋 敬行

電話 048-584-0302



奉祝する行事が盛大に行われます。山内の住職始め、高校生・専修学院生・大学生・詠歌衆・稚児大師をまつる花御堂を引く稚児や・大師音頭の踊りの列など多彩な慶讃行事が行われます。



青葉祭

六月十五日は、

弘法大師の誕生日です。高野山では、大師の誕生を

心の財第一なり

日蓮聖人は「蔵の財よりも身の財すぐれたり。身の財より心の財第一なり」とおっしゃられました。人間には三つの財があるといふのです。

第一は「蔵の財」。これは財産とか、お金のことで、生活していくためになくはならないものです。

第二は「身の財」。これは身体の健康のことです。健康だからこそ十分に働くこともできるのです。

そして第三が「心の財」。心の健康のことです。心が曲がるとその行いもふるまいも邪なものとなります。

伝言板

人の悪いところを見るのではなく、人のいいところを見よう。

だから酒はやめられない

酒が飯より好きというある人、夢の中に冷や酒が出てきたので爛にしておうと思ひ、妻を呼んだ。しかし、なかなか妻は来ない。そこで「おい、なにをしてるんだ」と立ち上がった時に徳利を倒してしまい、酒が畳の上に流れ出した。そこで目が覚めて、「ああ、惜しいことをした。こうゆうことなら、早く冷やで飲むんだった」 小話集より

馬鹿 (ばか)

「ばか」—サンスクリット語 m o h a (モハ) から転訛したものという。漢訳音写語で「慕何」「莫迦」等と記す。釈尊の教を聞いても理解できず、何が正しいか判断できない物事に暗い状態の意。

「馬鹿」の熟語は、秦の二世皇帝の面前で、献上された鹿を指して馬だと言わせ、自らへの臣下の忠順度を測った権力者趙高の故事に由来するともいわれている。

仏教が生んだ日本語

空海の言葉 シリーズ

けいろいま
経路未だ知らず。
ちまたのぞ
岐に臨んで幾たびか泣く

●●● どれが近道なのかわからない
分岐点に立って何度泣いたことだろう

弘法さん当時、仏教は、法相宗、華嚴宗、律宗、三論宗、俱舍宗、成実宗などのほかに、天台宗という新しい宗派もできていました。弘法さんは、これら七本の道の分岐点に立って、大いに悩んだ結果、大日如来という宇宙の仏のお告げを聞いたのです。密教という新しい道を発見しました。

